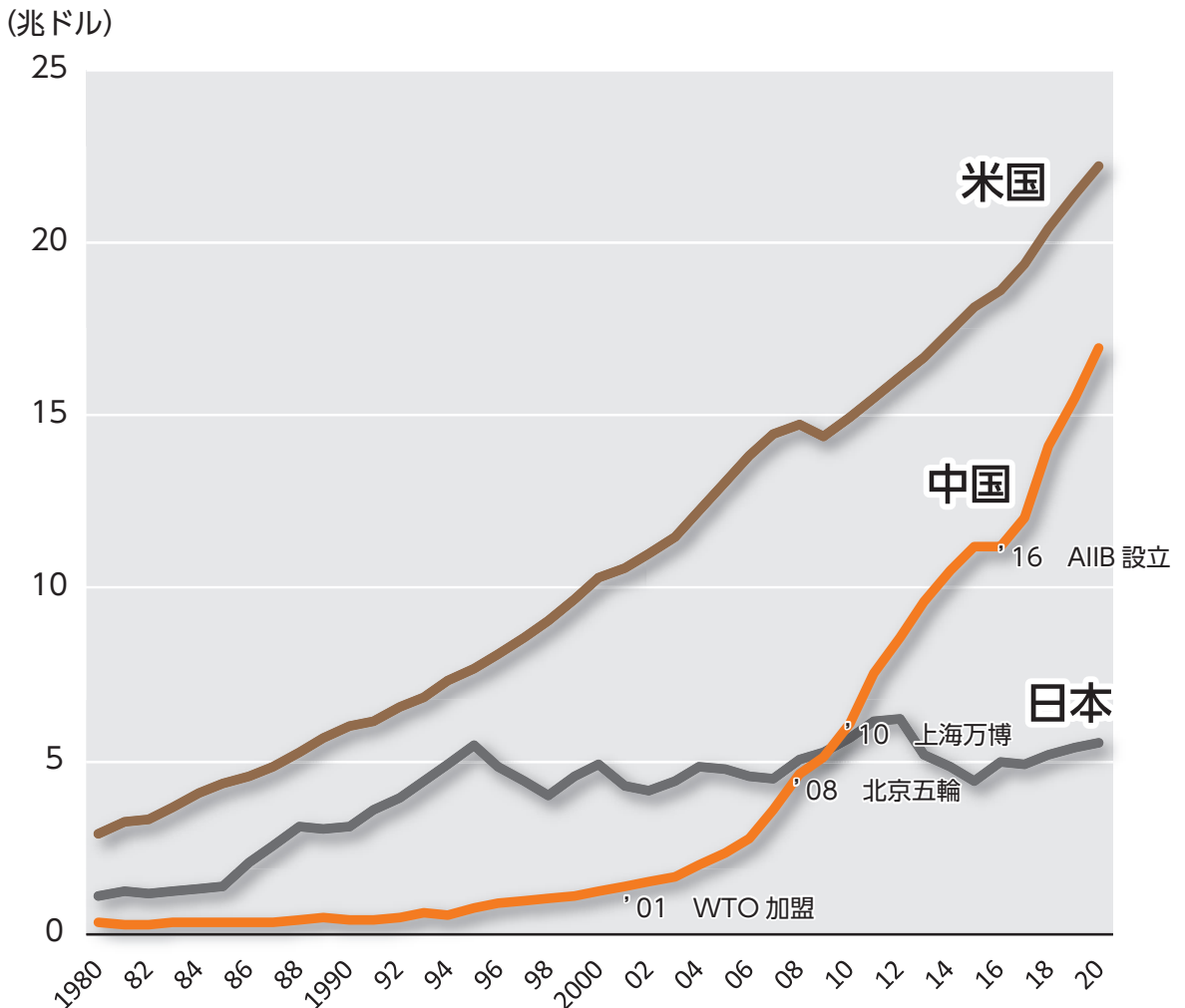


# 中国の変化に向き合う

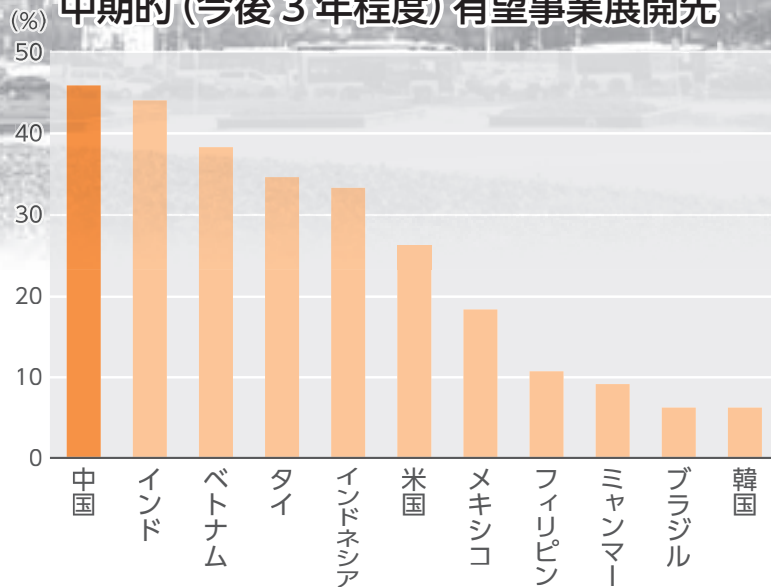
飛躍的な経済発展を遂げた中国。生産拠点として、市場として、日本企業のグローバル成長戦略に欠かせない存在だ。一方で、近年では強力な競争相手であり、同時に、互いに協力し合うパートナーでもある。ますます存在感を高める中国とどう向き合えばいいだろうか。

## 日米中の名目 GDP 推移



出所：IMF データを元に日外協作成（2018～20年は見通し）

## 中期的 (今後 3 年程度) 有望事業展開先



## 中国の有望理由と課題

有望理由	得票率	課題	得票率
マーケットの今後の成長性	68.5	労働コストの上昇	64.7
マーケットの現状規模	61.4	他社との激しい競争	57.4
組立メーカーへの供給拠点	26.9	法制の運用が不透明	54.2
産業集積がある	22.3	知的財産権の運用が不十分	40.0
安価な労働力	14.2	為替規制・送金規制	35.8

備考：1. 事業展開先の質問では、1 企業 5 カ国までの複数回答を認め、当該国の得票数を回答社数で除した比率を得票率として表示。  
 2. 有望理由・課題の質問では、中国を有望な事業展開先と回答した企業の中で、有望理由・課題に回答した企業における得票数を表示。

資料：国際協力銀行「2017 年度 海外直接投資アンケート結果（第 29 回）」から作成